

Round Table Talk: 日本での生活、IPMUでの日々

シメオン・ヘラーマン Simeon Hellerman
IPMU准教授

ヨハンナ・クナップ Johanna Knapp
IPMU博士研究員

スザンネ・レッフエアト Susanne Reffert
博士研究員

マシュー・スダノ Matthew C. Sudano
博士研究員



左から順にヨハンナ・クナップ、シメオン・ヘラーマン、スザンネ・レッフエアト、マシュー・スダノ

なぜ来日を決心?

ヘラーマン マット、君は日本へ来ることを、いつ、どんな風に決心したの? 君とか、いや、君たち3人のような優秀な研究者を迎えられたことは、すごく運が良かったと思う。

スダノ ありがとう。僕が斉(村山機構長)からメールもらったのはクリスマス・イブのことで、クリスマス全部とクリスマス休暇の残りを使ってインターネットで日本に関する情報を漁り、妻と僕が本当に日本で生活できるかどうか判断しようとしたのさ。実は僕たちは他からもオファーをもらっていて、しかも僕たちにと

っては、そちらの話をとる方がずっと気が楽だったんだ。

ヘラーマン 君なら、さぞ多くのオファーをもらっていたらうね。

スダノ でも、研究者として一番魅力的なのはIPMUのオファーだったね。そのメールが届く前、妻は、僕がその話をまともに検討するとか、しかも実はとても魅力的な選択肢の一つと考えているとは、思いもなかっただろう。彼女はかなり動揺したと思う。でも僕たちは上手くやっていこうと決心して、実際、今までとても上手くいっているよ。

ヘラーマン 何が特別に魅力的だと思った?

スダノ この機構のスタイルだね。規模が大きくて、純粋に科学の研究所であること、だから色々な研究をしている優秀な研究者が沢山いて、そういう人たちと会えることが気に入ったのさ。それなら僕が疑問に思っていることに、容易に答が得られるだろう。それから、この研究所にはエネルギーと熱気が満ち溢れているのも気に入った。僕が検討していた別の研究所のうちの少なくとも一つは、幾分マイナスのエネルギーを持っているというようなことを耳にしたんだ。

ヘラーマン おやおや、それは面白い!

全員 (笑い)

ヘラーマン そうすると、君がここを特に

魅力的だと感じたことの一つが IPMU のエネルギーと熱気であるという訳だね。

スダノ その通り。僕は、日本やIPMUについて書かれたものをインターネットで読む以外にも、ここに既に所属している研究員や、他の物理学者も含め、できるだけ多くの人たちの話を聞いたんだ。僕たちのコミュニティはとても小さな社会だよ。だから口伝えの情報はとても重要なんだ。皆、口をそろえて肯定的で、良い事しか言わなかったよ。

ヘラーマン それは嬉しいね。僕はその時君と話してはいなかったと思うけれど、もし話しているとすれば、同じように良い事しか言わなかったろうね。

スダノ 以前聞いてなかったの、今聞かせてほしいな。IPMUは今まで君にとってどんな所だったの？

ヘラーマン とても素晴らしくて、全く、驚異的としか言いようがないね。もし君からそんな魅力的な研究の機会があると聞いたとしても、僕は信じなかったろうね。君も言うように、ここは純粋な研究機関で、自分たちがすべきことを邪魔されることが無い。僕らの基本的な任務は世界レベルの研究をすることなので、これはとてもエキサイティングなことの一つだ。もう一つは、ここには専門分野間の壁が無いことだ。違う分野の研究者が、いつも交流したり共同研究をしたりすることが、概念的に期待されているというだけでなく、実際にその通りに実現している。多くのグループや研究機関が学際的な交流を常に大々的に行うべきであるという同じようなアイデアを持っていると思うが、IPMUでされているほど実現している所は滅多にないと思う。超弦理論の専門家が、数学者や素粒子の現象論研究者や、宇宙論研究者と交流する。実験系の研究者と現象論研究者が議論しあう。実験系の研究者と理論系の研究者が…、というように。ここで行われている学際的な共同研究に僕はとても感銘を受けている。

スザンネ、君はIPMUで提供されている学際的共同研究の機会についてどう思う？

レフフェアト ここは他の研究所よりずっと

と良いと思うわ。私が以前にいた所では、例えば違う階や、廊下を挟んで反対側にいる他の研究者に話をするのは期待されていなかったの。もし話しかけたとしても、変な顔をされるだけ。でもここでは正反対なので、素晴らしいことだし、私はとてもエンジョイしているわ。

ヘラーマン 実際、私はこの研究棟の構造からして同僚との交流を自然に促す様に出来ていると思うね。つまり、この複雑ならせん状の階段になっている通路が、この建物から出入りするのための、事実上、唯一の通り道になっているということだ。しかも、このらせん通路を通してIPMU研究棟で働く全ての研究分野の全ての研究者の全ての研究室を訪ねることができる。それ自体が刺激に満ちた旅みたいなものだね。

スダノ とてもオープンな感じだね。どこからでも、例えば3階からほとんどの人達のオフィスを見通せる。研究をしている他の人たちと繋がりが合っていると感じないではられないね。

クナツプ そうだわ。他の研究所ではお互いに関わりあいにしない様になっているのを経験してきたけれど、IPMUでは全く違うのが素晴らしいわね。ここでは、話したいことがあって他の人の部屋をノックする時でも、邪魔しているようには感じないの。

スダノ そう、ガラス入りのドアのおかげで全然違う。

ヘラーマン 全くその通り。よく考えられていると思うね。

クナツプ ドアにはガラスが入っているけれど、壁はガラスではない。そのおかげね。プライバシーが無いのではなく、程良いプライバシーが保てる。

スダノ ところで、君は、まだ来たばかりだよ。まだ移行期間なのだと思うけれど、上手くいってる？

クナツプ これ以上ないほど順調に行っているとやってよいと思うわ。以前、何度か新しい研究機関に移った経験があるけれど、私にはこの研究所への移動が、多分今までで一番楽で順調だったと思うの。ここでは全ての面でとても良くしてもらっているの。

ヘラーマン と言うことは、ヨハンナ、IPMUの事務的なサポートに対して好感を持っているということだね。

クナツプ もちろんよ。あなたもそうでしょう？

ヘラーマン 確かに僕も同じだよ。そうすると、IPMUの事務的なサポートをこれ以上良くする提案は無しということかな。

クナツプ 何も思いつかないわ。どこでもIPMUと同じくらいのサポートをしてくれれば良いのに。私はここへ来る 2, 3 週間前に、東大が用意するアパートへ引っ越したいかどうかと尋ねるメールを受け取ったの。もし私がどこか他へ行っていたら、多分同僚にでも聞いたでしょうね。それでアパートを探すにはこういう新聞を見れば良いよと言われていたと思う。ここでは、私がすべきことは、ただやってくるだけで、あとは全部お膳立てされていたわ。

スダノ 事務スタッフが実に良く助けてくれるね。実のところ、何を頼んでも良いことになっているのか知らないのだけれど、何でも頼んでしまうよ。いつもそうしてしまうけど、事務スタッフは時間や労力を惜しまず、とても親切にしてくれる。

クナツプ 私は日本語の読み書きができないから、助けてもらえないと途方に暮れてしまうわ。

スダノ その通りで、とても大変なことがあるね。例えば、僕は日本語を読んだり書いたり余りうまくできないからGoogleで日本のことを検索しようとしても本当に大変なんだ。だから、色々なことを見つけるのにちょっとしたことで人を頼ってしまう。

ヘラーマン そうは言っても、IPMUは研究員に対して無料で日本語教室の集中コースを開いてくれているよ。

レフフェアト 私は日本人スタッフは本当にすばらしいと思うわ。それから、日本語の先生は日本語教室以外でもあらゆるところでとても親身に助けてくれると思う。もし日本での生活について聞きたいことがあれば、先生が助けてくれるし、日本語だけでなく、日本での生

活についての話もしてくれるわ。

クナップ 先生は私たちに色々なものを持ってきてくれるの。今朝は先生が持ってきた和菓子をいただいたわ。そういうことがなければ、わざわざ食べてみようとはしなかったはずで、とてもめずらしいものだったけれど、私たちが頼まなくても先生はくださったのよ。

ヘラーマン 僕も全く同感で、西川先生^{*1}は普通の先生ではないね。先生の助けがなかったら、僕も他の外国人研究者もここまで順調に日本での生活に溶け込めたとはとても思えない。

スタノ その通りで、僕も料理のオーダーの仕方、店での買い物、そして公共交通機関の利用の仕方、道の尋ね方といった何かやっつけていけるだけの日本語をととても早く修得した。基本的なことは結構簡単だけど、ちょっと複雑なことになると、それなりの努力が必要だね。僕は大きな家に家具をそろえたり、きれいに飾ったりしなくてはならなくて大変だった。でも最終的には上手くいったけどね。

どうすれば日本での長期滞在を魅力的にできるか？

レフフェルト どうやら文部科学省は外国人研究者の日本招聘を促進させるために予算要求を準備しているよね。外国人研究者が日本に長期間滞在するためにはどのような支援があれば良いと思う？

スタノ 長期間とは具体的にどのくらいのことを言うのだろうか？ その長さによっては、かなり話が変わってくると思うけど。

レフフェルト それでは、日本に例えば一週間以上は滞在するとして、どんな支援があれば助かると思う？ お金で済むようなものでは、どんなものが役に立つかしら？

スタノ 住居を提供するのがとても有効だと思うね。ヨハンナが滞っているような単身者向けの住居を提供できればね。

クナップ 私がここに来る前に一番心配

*1: IPMU事務スタッフの西川正美

なことだったから、とても助かったわ。仮にアパート探しの手助けを申し出てくれたとしても、2、3ヶ月もかけて、それに必ず誰かに一緒に行ってもらわなくてはならないし、それを考えると私なら…。

レフフェルト でも、それは助けてくれるでしょう。

クナップ そう思うけど、でも実際は住居を与えてくれて、それは私にとっては思っても見なかったボーナスだったの。IPMUでは、既に研究者が日本でなるべく心地よく暮らせるように出来る限りのことをやっていると言わなくてはいけないわ。日本に来ることについて外国人が抱える問題点の多くは実際には日本のせいではないと思うの。でも日本に行くのに一緒に行くパートナーがいて、その仕事を見つけなければならぬとなると、それは恐ろしく難しいことね。日本語は難しい言葉だし、その上パートナーが研究者でもなければ仕事を見つけるのは本当に大変。外国人が日本へ来ることを躊躇する要因の一つがそれではないかと思うわ。

ヘラーマン 配偶者やパートナーの仕事を見つけるために、IPMUが積極的に案内してくれると助かると思う？ 外国人を日本に連れてくるのに役立つだろうか？

クナップ 多分そうだと思う。

レフフェルト もう一つ、お金で済むことだけど、出張旅費を十分用意することね。そうすれば海外出張ができて、世界中から共同研究者を連れてこられるわ。日本が抱えている問題の一つは、西欧の大学や研究所から遠く離れていることよ。誰もが他の研究機関との関係を維持したり、新しい協力相手を作ったりするのに十分な資金があれば、日本に滞在することに何の問題もないでしょう。JSPS（日本学術振興会）の外国人特別研究員になると、日本の外で過ごせる時間が限られているのが問題だと思うわ。^{*2}

クナップ でも結構長期間ではなかったかしら？ 3ヶ月くらいとか。

レフフェルト 多分1ヶ月くらいを過ぎるとその後は給料がカットされるの。だから、そんなに長くはないし、それが問題なのは、

孤立してしまうリスクを負うことになるの。それとは反対に海外へ出張することを許す制度が何かあれば、外国人研究者にとって日本での長期滞在を魅力的にする上で有効でしょう。

ヘラーマン そうだね、それはオファーがとても魅力的であるために重要な要因の一つだと思う。

レフフェルト 孤立してしまうリスクを負うことになるから止した方が良いと言う人もいたので、そういうことが大事なのだということがはっきり分かったの。でもIPMUは年に3ヶ月間の外国出張を許可し、旅費も出してくれることでこの問題を解決したわ。

スタノ その通り、それは大きな違いだね。さて、僕は外国人が日本に長期滞在することを魅力的にするのに有効で、お金のかからない方法があると思う。それは「相棒」をつけることだ。例えばヨハンナが「日本で、これはどうすればいいの？」と困ったときに聞きに行く助っ人に、僕になって、外国から来たばかりの時に経験する苦労をしなくて済むようにしてあげるのさ。僕はいろんな人と話をすればするほど、それだけ多くいろんな仕組みが分かって来た。もし僕が最初来たとき、日本にしばらく滞在していろんなことが分かっている人を見つけ知恵を拝借できていたら、きっと多くの問題、例えばSuicaの買い方など、ちっぽけなことだけど、困らないで済んだはずだったと思う。

レフフェルト それは名案だわ。もちろん、最初に日本へ来た人達は何の経験ももってなかったでしょうけど、今ならできるでしょうね。

クナップ 要するに日本人が気がつかないかもしれないようなことを思いつくだろうということで、特に日本人ではない方が良いということね？

*2: JSPSの外国人特別研究員は、採用期間内に日本の外に出張できる日数に制限があり、また外国出張が一定期間を超えると滞在費が減額される。この制限は徐々にゆるめられているが、例えば2008年に2年任期で採用された外国人特別研究員に許される外国出張期間は通算120日までで、通算60日を超えると滞在費が減額される規定となっている。スザンネ・レフフェルトは1年当りの日数について話している。

レフフェアト 役に立つだろうと思うわ。だって日本人にとっては当たり前すぎるような問題だと、私たちが困っていても日本人は気がつかないのよ。

スダノ 例えば、シメオンは日本に来てかなりの時間が経つというのに、僕から日本にもコストコがあると教えられたようなものさ。

ヘラーマン まったくだ。聞いて驚いたよ。

スダノ 日本人は、まさかこんな情報が喜ばれるとは思えないだろう。事実、コストコで僕が欲しいものはほとんど手に入れてきたと日本人に話したけれど、誰もそれは聞いたこともなかったそう。日本にしばらく滞在した外国人と親しくなると間違いなく助かるよ。

レフフェアト ほんとに。実に良い指摘だわ。

ティータイム、クッキー、日本食、などなど

ヘラーマン スザンネ、君は IPMU のティータイムについてどう思う？

レフフェアト ええ、すごいことを始めたものだと思うわ。おかげで一日に一回は皆と顔を合わせることができるのだから。自分のオフィスへ行き着くまでに通ることのないオフィスがあるけれど、そこにいる研究員の同僚とも話ができるわ。本当に IPMU での研究者の交流の中心だと思う。

クナツプ そしてユニークだと思うわ。同じようなことをしている所が他にもたくさんあるとは思わない。

レフフェアト ティータイムに似たものが時々あるけど、たいていは全員のためのものではないの。例えばアムステルダムでもティータイムがあったけれど、学問分野の間に境界線みたいなものがあったわ。

スダノ 僕は、素晴らしい研究所には必ず素晴らしいティータイムがあると思うよ。

ヘラーマン 特に IPMU に対してはそうなんだけれど、前からティータイムに出ればいいなと思っていたものが一つあ

る。リンゴやにんじんのような健康的なものだ。

スダノ プリンストン高等研究所 (IAS) ではフルーツが出るね。

ヘラーマン 何だって?! どうして僕が居たときには出してくれなかったんだろう? IAS でもティータイム出席が本質的には半ば義務であるのは IPMU と同じなのさ。IAS でも IPMU でも、特に IAS では、ティータイムに行くのが僕は怖かった。クッキーを見た途端、むしゃむしゃ食べ始めてしまうのが怖かった。自分を抑えきれないのさ、とても美味しいので。このクッキーも同じくらいとても美味しい。だから僕は、昔も今もティータイム恐怖症で、でも何とかそれを克服して、期待されているようにいつもティータイムには出ているよ。出してみればいつも楽しいし、啓発されるし、でも…

レフフェアト それはとっても良い指摘だわ。私もそういうものが出ないのがちょっと残念。いつもたくさんお菓子が出るけど、たまにフルーツが出たこともあって、そういう時は皆目をつけたわ。

ヘラーマン でももし出ると分かっていたら、僕みたいな心配する必要無かったはずだよ。

クナツプ 私には、それは問題ではないの。日本食はとっても健康的だから、ティータイムにクッキーを食べることは全然気にならないの。

ヘラーマン それは一理あるね。他とは違って…

レフフェアト ほら、お昼にたくさん納豆を食べれば。

ヘラーマン その通りだね。埋め合わせをする方法はある。ティータイムに納豆を出したって良いのではないかな。面白そうだね。

スダノ 僕は自分のメニューを徐々に作り上げているところさ。自分で作れるものを組み合わせでね。そうしようと思えば、健康に良くない食事でもできてしまう。とっても大きなオーブントースターがあるからケーキも作れるし、クッキーも焼ける。

クナツプ それなら、日本料理を作りなさいよ。私は是非やってみたいの。問題

は何が何なのか説明してもらうために西川先生と一緒に連れてもらわなければならないこと。だってお醤油一つ買うにしても、醤油の棚がいっぱいあるし、欲しいものがあるのに、結局見つけれられないの。是非、日本料理を作りたいの。

スダノ やってはみている。いくつか勉強中さ。

ヘラーマン 試行錯誤でなの？

スダノ そうだね。まあ志賀さん^{*3}が少し料理のことを教えてくれたけれど、たいていは試行錯誤でやってるよ。

クナツプ 私は日本だけあって、多分他にはないようなものを最大限活用してみたいの。ただ、それが何なのか、そしてそれをどうやって取り扱えば良いのか、それは知らなければならないわ。

スダノ 確かにそう。僕も余り馴染みの無い野菜、例えばネギなどを試しているよ。僕たち、夫婦ともに長ネギは好きだね。とても大きなグリーン・オニオンみたいなものだ。

ヘラーマン 面白そうだね。大根はどう思う？

レフフェアト 大好きよ。

スダノ もう試してみたけれど、とても美味しいね。

ヘラーマン 僕も好きだよ。

スダノ 僕は調理したものより生で食べる方が美味しいと思う。

クナツプ IPMU の話に戻りましょう、それから日本の話も。スザンネはブログを書くのを楽しんでいるようね。^{*4} 世界的に有名じゃない。

スダノ ここへ来る前、ここへ来る決心をする前に僕が読んだ中の一つだよ。

クナツプ 私もここへ来る前、勧められたわ。

レフフェアト ここへ来る決心をするのに役に立ったなら良いのだけれど。本当は、主に友人たちと連絡を保つために書き始めたの。でも、もちろんポスドクの候補になった人たちが読んでくれて、日本で生活するということがどんなものなのか、感じをつかんでくれたら嬉しいわ。

*3: IPMU事務スタッフの志賀智子

*4: <http://chipango.wordpress.com/>

日本で医者にかかる

ヘラーマン 日本で医療機関を利用したことは？

スダノ まあ、もちろん東京大学で受けることになっている健康診断は受けただけで、面白かったね。今までにないまるで違う経験だった。僕たち夫婦はここで子供を作りたいと計画しているので、僕は、目下産婦人科の病院について調べているところだよ。

ヘラーマン それは、うまくいくように祈っているよ。うん、実に興味深い。

スダノ 行くのが大変でない範囲で、しかも英語の話せるところを見つけようとしているのだけれど、これが結構難しい。選択肢はあるけれど、まだいろんなことを調べているところだよ。

レフフェルト そうね、見つけるのは大変そう。私はまだそういう必要が無くてよかったわ。そういう特別なことだと、安心できる病院であることが大切だね。

スダノ その通りだよ。

レフフェルト だからこそ大変なのね、きっと。

スダノ とても違うみたいなんだ。患者と医者との関係がとても違うように見える。

レフフェルト どういう意味で？

クナップ 例えば医者は特別に尊敬されているとか…。

スダノ うーん、アメリカでは、医者ははっきり分かるようにやってみせるよね。医者は患者に確信を持たせよう、安心させようとするし、いろいろ話をしてくれ、十分に説明しようとする。僕が聞いたところでは、それから僕の数少ない経験ではまさにその通りなのだけれども、日本では医者は大変尊敬されていて、彼らは自分の意見を言い、診断を下し、処方箋を与える。それについて立ち入った話し合いは無く、患者と医者との間で、どんな選択肢があるかとか、患者の方はどういう風に治療を進めてほしいと思うのかとか、そういう話し合いも多くはない。だから、文化の違いや言葉の壁を考えると、僕らが安心できる医者を見つけるのは難しいかもしれない。でも僕らはまだ、たった一人の医者に会っただけ

なんだ。

レフフェルト ちょっとした風邪をひいて行っただけなのに、いろんなものを処方された話を聞いたことがあるわ。普通の風邪をひいただけなのに10種類もの薬を処方されたとか。足の靭帯を切っしまい、そうしたら約1ヶ月も入院させられた IPMU の学生もいたわ。だから、そんなに深刻でなければ、私は医者にかかるのは避けようと思うの。

クナップ 西川先生の話では、一般開業医の概念は日本には全然無いそうよ。だから例えちょっとしたことでも、内科の専門医とかにかからなければならぬの。

ヘラーマン そうなんだよ。

レフフェルト あなたは、直接体験したことがあるのよね。私はまだ一度も医者のところへ行ったことがないので、何も経験していないの。

ヘラーマン 僕は医者だけでなく病院へも行っただよ。怪我したんだ。運動の積みりだったけど、避けきれずに怪我してしまい、結局、誰かが救急車を呼んでくれて病院へ運ばれた。僕が、アメリカだったらこういう体験をしたらと思うことと比べると、間違いなくとても効率的だったし、最善の対処法を経験したと言わなくてはならない。僕は肩を脱臼したのだけれど、一番ましな状況でも脱臼するのは実に痛いものだよ。でも救急隊員も救急車もとてもよくやってくれた。僕が全く日本語を話せないのに、しかもその時、保険証を持っていなかったのに、病院ではすぐにお医者さんたちが診てくれた。控室で待っていた時間はとても短くて、多分15分もしなかったろう。

レフフェルト まあ、それはとても短いわ。

ヘラーマン もしアメリカで病院へ行ったら、どんな病院でも保険証を持っていないければ、12時間以内に診てもらえたら運が良いと言える。それとは全く違う経験をしたんだよ。それから先は、お医者さんたちはしばらく僕の腕をいじくり回した。いや、脱臼した腕をいじくり回されるのは決して愉快的なこととは言えないけど…。

クナップ でも日本のお医者さんが悪い

わけではないのでしょう。

ヘラーマン もちろん、日本の医者が悪いわけではないよ。それは掛け違ったジッパーを元の噛み合わせに戻す様なものだったのだと思う。ただもう仕方なく、腕を揺さぶられたり、回されたりされ続けているように感じたのだけれど、あの状況下では多分可能な限りの最小限に留めてくれたと今では確信している。お医者さんたちは最善を尽くしてくれ、多少あれこれやっている内に元の位置にはまったのだ。僕は完全に満足した。その後、お医者さんがレントゲン写真を見せながら、どんな状況だったか説明してくれた。実のところ、それはショックだったよ。でもお医者さんたちはとてもよくやってくれたと思う。それから注意事項などを説明してくれ、包帯を巻いてくれた。

レフフェルト もうすっかり良くなったの？

ヘラーマン もうすっかり元通りさ。それに実は、僕はその時、運動の積みりで外に出たものだから、保険証だけではなく支払いをするお金も持っていなかったのだけれど、病院は、後で支払いに来るといふ口約束だけで家へ帰してくれたのだ。まあ、そうさせてもらい、実際はすぐに保険証を持って支払いに行っただよ。それで全部済んだ。だから日本の医療システムについては、申し分ないとしか言いようがない。

レフフェルト でも、外国人が日本に来ることを躊躇するのはなぜだと思う？

クナップ 今、日本に来てみて、なぜ外国人がそう思うのか理解できないわ。

レフフェルト でもあなたも心配したのではなかったの？

クナップ それほど心配事はなかったわ。でも今までは自分の文化的背景と同じような範囲内の国を移動してただけだったので、そろそろどこかもっと遠くへ行ってみる時が来たように感じたの。言葉の問題だけがちょっと心配だったけれど、いえ、未だにまだ問題ではあるけど、でも何とかできています。

スダノ 僕は技術的なことは余り心配しなかったよ。心配したのは妻のことだった。妻がここでハッピーでい

られるかが心配だった。人と出会って友達になるのがちょっと難しいと思う。彼女は必ずしも物理学者たちと友達になりたい訳ではないし、それにちょっとしたことで困っていると思う。彼女はヨーロッパにも住んでいたけれど、あまり好きではなかった。彼女が喜ぶのは、英語で人と話せることと、どんなことでもやりたいことを見つけれられることなんだ。行ったことの無い国へ行くことを、すごく楽しみにしているということではなかったね。でも今までとても上手くいったよ。そして今、彼女はここにいるし、まだそれほど長い間いたわけではないが、家はとても気に入っている。今の街も好きだし、全般的に日本で良くしてもらっていると思う。食べ物の問題はないし、日常生活を送るのにも問題はない。人と接する機会はまだ必要だけれど、そのうち何とかかなと思う。もちろん子どもを持つということについては、まだいろいろと調べなければならない。でも、きっとそれも大丈夫だと思うよ。

日本へ来るとカッコイイことがたくさん!

レフフェアト 日本へ来て大変なことばかり考えるのではなくて、素晴らしいことについても考えましょうよ。

スタノ 賛成!

レフフェアト 実際、私は住むにはとても素敵な国だと思っているの。そして近くをあちこち見て回ったり、日本の別の地方に行ったり、それから東京も本当に広いし、とても楽しんでいるわ。私はもう1年半東京に住んでいるけど、近場でも見るべきものを全部見てしまった所なんてないの。

スタノ すごく違うし、とても面白いし、実に素晴らしい文化だね。それを知ることがとても楽しいんだ。

クナップ 伝統的な文化をたくさん見つけ出せるわ。

ヘラーマン そう、お寺や神社。

クナップ 食べ物、伝統的な音楽、舞踊、そのほか何をとても、それまで私が知っていたものとは全く違う。

レフフェアト それに、すぐに飽きるとい

うことがないわ。本当に私はまだ全然飽きていないの。家から出れば、いつでも新しい発見がある。

クナップ とてもワクワクするわ。アジアの文化に魅了された人たちがあなたのブログにはたくさん出てくるわよね。そういう人たちは、マンガを知っていると、武道を知っているから日本が好きなのだけど、私はそういう部類の間ではなかったの。余り日本のことを知らずに来たの。結果として、新しいことの発見がたくさんあるから、いつでも新鮮だわ。私は心底楽しんでいるの。そう、毎日同じような生活は無い、というか、未だそうっていないの。だって何でも目新しくワクワクするし、とっても楽しい。

スタノ 僕らは今、日本で大変な話ばかりするべきではないと言ってたよね。でも、僕はこう言っても良いと思うのだけれど、最初に出会ってびっくりしたことはたくさんあったけど、実際は思っていたよりずっと簡単なことだった。もちろん日本の人たちはとても協力的で親切だ。でも小さいことだけど、例えば日本にもオレオがあるとか、これほど食べ物たくさん見つけれられるとは思ってなかったよ。少なくとも相当アメリカの影響を受けていて、アメリカの商品やアメリカの文化がたくさんあるし、そういうことはアメリカだけではないと思うよ。それに気がついた。

クナップ イタリアのパスタだってあるわ。

スタノ そう。ほとんどあらゆる種類のエスニック料理を食べられるし、他のどこより何でも簡単なことが分かる。例えば、もちろん交通機関を使うのはとても簡単だ。

レフフェアト びっくりするわ。いつも時間通り。

ヘラーマン 本当に、全体的にこの国はとても組織的で効率的だ。

スタノ そう。そしてとても便利だ。

レフフェアト しかもとても安全よね。

クナップ 多分、これ以上安全な国はないでしょうね。

レフフェアト もう2回もだけれど、私は電車で自分のバックパックを置き忘れた

ことがあるの。交換用のレンズやデジタルカメラのようなカメラの機材一式が入っていたけれど、でも全然心配もなかった。実際、問い合わせたらすぐに戻ってきたの。それも一度はたった30分で。そうよ、自分の持ち物や、さらに言えば自分自身の身の安全さえ心配する必要がないって、本当にいいわよね。

ヘラーマン 最初何度か日本に来たのだけれど、あるとき僕は携帯電話を失くしてしまった。結構人通りの多い歩道に落ちてしまったのだけれど、自分の歩いてきた道をたどって、もしかしてあの辺りだと思われる場所まで戻って来たんだ。そうしたら正に僕が落としたその場所にあったよ。しかも落としてから半日以上経っていたんだ。びっくりするようなことだね。

スタノ 僕はいつも傘を自転車に置きっぱなしにする。傘なんて高価なものではないけど、アメリカならたちまちかわられてしまうね。

ヘラーマン そうだね、僕がニュージャージーで、電車の中で別の携帯電話を座席に置いてちょっと目を離したら、45秒程で盗まれてしまった。

クナップ ほとんどの国では、自転車に乗って行ったら必ずサドルをはずして持ち歩きましょう。そうしないと自転車盗まれてしまうから。一部でも部品が欠けていれば、盗みたくならないでしょう。東アジアの国にいるけれど全てが安全で清潔、そして何を食べても病気になりにくい、そういうところも良いし、違う文化をもつ国でも行ってみたいくなるわね。生活の質の問題よ。私が日本をとても好きなのよ。

スタノ 僕は生まれて初めて生牡蠣を食べたよ。ここは、牡蠣を安心して食べられる唯一の国だ。

ヘラーマン とても充実した話ができたね。実際、文句なしに僕は得るものが多かった。君たちも同じように感じてくれるといいね。

レフフェアト もちろんそうよ。

ヘラーマン 色々な考えを共有できたことを感謝するよ。どうもありがとう。